

令和5年度 第2回 滋賀労働局 公共調達監視委員会 議事概要

| | |
|-------------------|---|
| 開催日及び場所 | 令和6年2月8日(木) WEB開催 |
| 委員(敬称略) | 委員長 坂田 雅夫 滋賀大学経済学部教授 委員 齊藤 秀樹 公認会計士 委員 堀田 直美 弁護士 |
| 審査対象期間 | 令和5年7月1日から令和5年12月31日の期間における契約締結分 |
| 抽出案件 | 5件 公共工事(競争入札): 2件(下記公工入札1、2) 公共工事(随意契約): 0件 物品・役務等(競争入札): 2件(下記物役入札1、2) 物品・役務等(随意契約): 1件(下記物役随契1) |
| 審議案件 | 5件 |
| 報告案件 | 0件 ※「報告案件」とは、滋賀労働局公共調達審査会で審議された案件について報告を受けたもの。 |
| 委員からの意見・質問に対する回答等 | 下記のとおり |
| 特記事項 | 特になし |

| | |
|---|---|
| 公工入札1 東近江公共職業安定所トイレ及び屋上改修工事 | |
| 意見・質問 | 回答 |
| 意見・質問なし。 | |
| 公工入札2 東近江公共職業安定所庁舎トイレ及び屋根等改修工事監理業務及び車庫改修設計業務 | |
| 意見・質問 | 回答 |
| (1) 入札金額内訳の2設計業務の直接人件費が280,000円となっているが、予定価格調書の同項目は1,242,000円となっている。かなりの差があるがその理由は。 (2) 2回目は1回目の時よりも日数がかからないという想定で提出されたという理解で良いか。 (3) 監理業務と設計業務をセットで行うのは、良く用いられる手法なのか。 | (1) 1回目の入札で参加業者2者の最終見積価格は、30人工に単価を乗じた計算で100万円以上の金額だった。したがって、予定価格調書は2者の平均をとって人件費を積算したが、2回目の入札の際には1者しか参加せず、また設計の人件費が僅か8人工に単価を乗じた計算で入札された。なぜ30人工から8人工まで下げられたのかは確認していないので、不明である。 (2) そのように推測される。 (3) 監理業務・設計業務ともに設計事務所の業務となり、また今回は同一庁舎であることから、別々に調達する必要がなかったため、効率的な予算執行のためにまとめて入札を行ったものである。 |
| 物役入札1 R5年度一般定期健康診断、健康管理医業務、ストレスチェック業務委託 | |
| 意見・質問 | 回答 |
| 意見・質問なし。 | |
| 物役入札2 SNS等を活用したハローワークの魅力発信・活用促進事業委託 | |
| 意見・質問 | 回答 |
| 意見・質問なし。 | |
| 物役随契1 雇用保険各種業務用紙の印刷 | |
| 意見・質問 | 回答 |
| 見積合わせ業者一覧を見ると7者に案内しているようだが、いつもこの程度案内しているのか。 | 案件によって異なるが、今回は予定価格が100万円を超える案件のため、普段と同等以上の案内をしている。 |